

(様式2) 新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		県営農村地域防災減災事業(水路等の補強)		路河川名等					
事業毎の通番		3	市町村名	松本市	箇所名(ふりがな)	幹線北耕地(かんせんきたこうち)			
事業概要	事業目的	本地区の畑かん幹線管路は、設置から36年が経過した石綿管であり、老朽化により各所で破管事故が度々発生している。その都度補修対応が実施されているが、修繕費用も増嵩し、改良区(農家)の負担が大きくなっている。また石綿を含有する製品の破壊等により、将来的に農業者等の健康を害する恐れもある。このため石綿管の除去及び更新整備を実施し、石綿に起因する影響を未然に防止するとともに、農業経営の安定及び農業の維持を図るものである。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	1-3 夢に挑戦する農業		事業実施の根拠法令等		土地改良法			
	関連する事業、計画等	国営中信平2期農業水利事業・県営畑地帯総合土地改良事業北耕地地区							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益面積: 35.4ha							
	着手年度	平成27年度	事業期間	3年間		事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成29年度	費用対効果	1.12		国庫	33,000	その他 6,000 県債 18,000 一般財源 3,000	
全体事業内容(主な工種)	畑地かんがい施設 A=35.4ha 硬質塩化ビニール管 φ250mm L=1,080m				60,000	33,000	6,000 18,000 3,000		
年度事業内容(主な工種)	測量設計 1式				1,000	550	100 0 350		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	石綿に起因する健康被害の未然防止・用水の安定供給の確保と維持管理の軽減							
	間接的効果(定量的・定性的)	耕作放棄地の抑制							
評価の視点	必要性	○受益戸数: 81戸 ○農地利用集積向上率: 4%(現状集積率 30%) ○野菜・果樹指定産地: 複数品目で指定あり(キャベツ、きゅうり、たまねぎ、トマト、ねぎ、はくさい、レタス、ピーマン)					評価	B	
	重要性	○関連施策、重要施策との整合: 第2次長野県食と農業農村振興計画、松本市総合計画 ○人・農地プラン: 平成26年3月17日修正 ○畑かんの破管数: 破管数17箇所					評価	A	
	効率性	○費用対効果: B/C=1.12 ○事業期間: 3年 ○工法検討: 加圧方式から自然圧による散水方式への検討					評価	A	
	緊急性	○用水の状況: 施設の老朽化及び石綿に起因する健康被害の未然防止のため石綿管の撤去・管種変更					評価	A	
	計画熟度	○事業情報の共有: 平成25年1月26日に事業説明会を実施など平成24年6月から平成25年10月にかけて役員・運営委員による検討会、地元説明会等が合計7回行なわれている。					評価	A	
	部意見	施設の老朽化が著しく、石綿を含有する製品の破壊等により、将来的に農業者等の健康を害するおそれが懸念されることから早急に改修する必要がある。		行政改革課意見	重要性、緊急性が認められる。		評価結果	○	総合評価

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景

②地域からの要望経緯及び地域の関わり

③事業説明等の経緯

④他事業・プロジェクトとの整合、関連

⑤自然環境・生活環境への影響と配慮

⑥地域活性化への影響と配慮

⑦その他

地区概要図

本地区の畑かん幹線管路は、設置から36年が経過した石綿管であり、老朽化により各所で破管事故が度々発生している。その都度補修対応が実施されているが、修繕費用も増嵩し、改良区(農家)の負担が大きくなっている。また石綿を含有する製品の破壊等により、将来的に農業者等の健康を害する恐れもある。このため石綿管の除去及び更新整備を実施し、石綿に起因する影響を未然に防止するとともに、農業経営の安定及び農業の維持を図るものである。

破管等による圃場、農作物への被害が生じ、維持管理費が増加傾向にある。そこで、平成24年度から施設管理者である中信平右岸土地改良区が更新整備についての検討を行ってきた。受益者の意向調査を行い、早急な更新整備が必要として、平成24年7月に中信平右岸土地改良区から松本市へ報告されている。

平成24年6月に「更新整備の賛否について」のアンケート調査を実施。また、平成25年7月に全組合員を対象とした更新事業に関する意向調査を実施した。平成24年6月から平成25年10月にかけて役員・運営委員による検討会、地元説明会等が合計7回行なわれている。

平成17年から実施されている国営中信平2期農業水利事業から農業用水を引水しており、一体的に効果を発現することができる。また幹線管路直下の末端支線管路は関連事業の畑総北耕地地区により整備する。

工事期間中、重機械の振動・騒音・排出ガス対策のため、早期及び夜間の作業を自粛し、排出ガス対策型の機械を使用する。また、表土剥ぎ、表土戻しを徹底し、外来植物等の移入を避ける。

関連事業の畑総北耕地地区と併せて、地元負担金の軽減を図るとともに、加圧方式から自然圧散水かんがいへの変更による維持管理費の軽減などにより、農地利用集積の向上・耕作放棄地の抑制に寄与する。

事業代表地点の緯度経度
北緯: N 36度9分40秒
東経: E 137度54分53秒